

市民が集まり、憩い、楽しめる緑豊かな場所にいたしましょう



森の中の高知駅



高知を愛する皆様へ（「お知らせ」令和3年10月号）

令和3年10月1日

彼岸も過ぎて朝夕がしのぎやすくなってきましたね。今月のご案内です。

10月17日（日）09:00～10:30 南口電停脇花壇「みんなの庭」の手入れをいたします。

11月は14日（日）、12月は12日（日）を予定しています。

○9月のトピックス：

— 高知市みどり課8人、同都市整備公社8人の方々が、駅周辺の草刈りを実施しました。「手入れしているボランティアがいる。よしっ」との気合もあったとか。（下に手入れ後の写真）



— 南口のヤシの木の枯死（先月号でご報告）に続き、去年北口ロータリー脇に植えたハクモクレンが枯れています。（上の右端の写真）。植え替えについて高知市みどり課にご相談予定です。
— 「みんなの庭」秋の花だより。



駅前緑化活動はご賛同の方々のご厚志で維持されております。引き続き皆様のお力添え（花苗持ち寄り、勤労奉仕、ご寄付など）をお願い申し上げます。

♥森の中の高知駅♥ 幹事連絡先：〒780-0042 高知市洞ヶ島町1-11
中田昌志 携帯電話：090-8849-3651 E-mail：m.nakata1941@gmail.com
公文敏雄 携帯電話：090-7016-3743 E-mail：kumont2@yahoo.co.jp
ホームページ： <http://mori-kochi-ekijimdo.com/>

取引銀行：四国銀行よさこい咲都支店「森の中の高知駅 ナカタマサシ 代表中田昌志」名義 普通 0709695

緑のまちづくりを考える（52）－日本ってどんな国？高知は？

外国に行くと、「日本ってどんな国ですか？」と質問されることが珍しくありません。高知に詳しくない県外の方から「高知ってどんなところ？」と訊かれることもあります。色々思い付きそうですが、あなたならどう答えるでしょうか？

まずは日本について・・・森林の歴史に詳しい米国人C. タットマン教授は、「列島の端から端までつながって空に突き出る山並みが青々とした森林にくまなく覆われた、『緑の列島』です」と表現しました（伊勢雅臣『国際派日本人養成講座』）。

高知はどうか・・・今年公開された人気アニメ映画『竜とそばかすの姫』の撮影で初めて高知を訪れた細田監督は、『竜馬がゆく』を読んで高知に憧れたがなかなか行く機会がありませんでした。主人公の歌姫が暮らすまちは、東京ではなく、日本における『世界の果て』のような場所であってほしい。そしてたどり着いたのが、『限界集落』という言葉の発祥の地とされる仁淀川流域でした。」と話しています（総合メディアサイト『SWITCH ONLINE』より要約）。



仁淀川（「自然の神秘と歴史浪漫あふれるまち越知町」のホームページより）

また、仁淀川キャンプフィールドなどを経営する総合アウトドアメーカー『スノーピーク』（本社新潟県三条市）の山井会長は、「高知の魅力は文明社会に対する圧倒的な自然の美しさ。最も贅沢（ぜいたく）なのは美しい自然です。」と断言しています（高知新聞ネット9月17日）。

両者とも、緑の森と清い流れ（そして海）がある『田舎』が大いなる魅力だということです。

森・川・空き地などを無造作に建造物で埋めてしまうこと（都市化）で、高知の宝物が損なわれていないでしょうか・・・考えさせられました。



高知市内鏡川の風景（個人ブログ <https://ritophoto.com/>より）